

愛知医科大学病院

病院長名 天野 哲也

所在地 〒480-1195

愛知県長久手市岩作雁又1番地1

交通案内 地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分
東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

愛知医科大学リハビリテーション科専門研修プログラム

【研修目標】

病気や外傷、加齢などによって生じる生活機能低下を予防、診断、治療し、心身機能の回復と活動向上、社会参加に向けてのリハビリテーション技術・知識を習得する。

【研修期間】

3年

(1・3年目愛知医科大学および関連施設、2年目連携施設)

【研修内容】

リハビリテーション科が診る疾病や生活機能は、(1)脳卒中、外傷性脳損傷など、(2)外傷性脊髄損傷、(3)運動器疾患・外傷、(4)小児疾患、(5)神経筋疾患、(6)切断、(7)内部障害、(8)その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)を中心として多岐にわたります。また、リハビリテーションは早期に開始するのが基本であるとともに、一生にわたる生活機能向上のために長期的に関わる点も特徴です。

疾病や生活機能を横断的に診ることと、時間的な経過を診るという両面にわたる研修を達成することを目標とし、基幹施設である愛知医科大学病院(急性期病院)と連携施設・関連施設が有機的に協力し合って充実した研修環境を提供します。

3年間の研修期間中に、日本リハビリテーション医学会が定める(1)～(8)の75症例を含む100症例をもれなく経験し、専門医を取得できるよう、プログラムが組まれています。



▲教育の現場



□ 主な連携施設

【連携施設】

愛知県済生会リハビリテーション病院、国立病院機構東名古屋病院、あいちリハビリテーション病院、ちゅうざん病院、和歌山県立医科大学付属病院、那智勝浦町立温泉病院、岐阜市民病院、総合大雄会病院、発寒リハビリテーション病院

【関連施設】

メイトウホスピタル、愛知医科大学メディカルセンター

□ メッセージ

指導医 (教授 尾川 貴洋)

愛知医科大学病院は特定機能病院として高い専門性を有し、基本領域とサブスペシャリティの幅広い診療科における専門医研修体制を構築しています。愛知医科大学リハビリテーション科専門研修プログラムは、身体的・精神的機能を回復させ障害を克服するという考えだけでなく、活動に着目しながら「患者さんの全身を診て人生をサポートするリハビリテーション医療」を提供するための研修プログラム構成となっています。全身を診るリハビリテーション治療は、疾病に対する手術や薬剤治療といった同じ医療手段の1つであり、具体的には、脳血管疾患、整形外科疾患、呼吸器疾患、心臓疾患、がん疾患、小児疾患、神経疾患やその他の障害や高次脳機能障害など幅広い疾患と障害に対し、他診療科と連携しながら治療を実施します。リハビリテーション科医は、全身を診る臨床力を持ち障害者に対するスペシャリストでありながらも、急性期から生活期にいたるまで、長期にかけて医療提供できる能力を必要とします。当科専門研修プログラムは、このための適切な教育を行い、十分な知識と経験を身に付けるための充実した構成となっております。



□ 募集要項

・採用予定人数	2人
・給与/月額	月額:436,644円(免許取得後3年目医師の平均、R6年度実績より算出、別途賞与支給あり) ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数/月	1～2回
・当直料/回	(救急外来)宿直手当 約39,000円 (病棟)宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 尾川 貴洋 電話番号 0561-63-1568 Eメール rehab@aichi-med-u.ac.jp